

■はじめに

キヤノン I T ソリューションズ製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このリリースノートには、ESET Smart Security モニター版（以後、本製品と記載）を正しく利用頂くための情報が記載されています。

本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- 本製品をインストールするコンピューターに、次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

- Microsoft Internet Explorer 6.0(Service Pack 1)以降 ※

※ 可能な限りセキュリティ修正が行われた最新のプログラムをご使用ください。

■製品マニュアルについて

本製品はモニター版のため、製品マニュアルは付属していません。各機能の設定については、プログラム内のヘルプをご参照ください。

■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

□ESET SysRescue（レスキューCD）作成の注意事項

ESET SysRescue（レスキューCD）を作成するには、Windows 自動インストールキット(Windows AIK) バージョン 6001以降が必要です。

ご使用のコンピューターにWindows AIKがインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

なお、Windows 8上では、今のところ ESET SysRescueは作成できません。

ダウンロード先URL(マイクロソフト株式会社)：

- Windows Vista SP1およびWindows Server 2008用  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=9085>
- Windows 7用  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753>

□Windows XP 環境で直接CD-RにESET SysRescue (レスキューCD) を作成する場合の注意事項

Windows XP 環境で、本製品から直接CD-RにESET SysRescue (レスキューCD) を作成するには、Windows 自動インストールキット (Windows AIK) の他に、Windows XP 用 Image Mastering API v2.0 (IMAPI2.0) が必要です。

ご使用のコンピューターにIMAPI2.0がインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロード先URL(マイクロソフト株式会社) :  
<http://support.microsoft.com/?kbid=932716>

□本製品の初期設定について

本製品インストール時に適用される各種初期設定の一部は、パッケージ製品として推奨される設定にカスタマイズされています。

したがって、本製品の詳細設定画面で[既定]ボタンをクリックした場合、設定の一部は推奨設定とは異なる値に復元されます。

□Windows 8の新しいUI画面 (※) 上での動作について

Windows 8の新しいUI画面で利用する場合、下記の注意事項があります。

- Windows 8の新しいUI画面では、ウイルス検出時の通知等は表示されませんが、パーソナルファイアウォールの対話モード時の確認画面、SSLプロトコル検査の証明書確認画面など、一部の画面が表示されません。
- Windows 8の新しいUI画面上で利用するアプリケーションについては、パーソナルファイアウォールのルールにかかわらず、既定値では、すべての通信が許可されます。  
あらかじめ定義したルールを使用する場合、および、学習モードでルールを作成する場合は、以下の設定を無効にしてご利用ください。

詳細設定画面-[ネットワーク]-[パーソナルファイアウォール]-[IDSと詳細オプション]-[許可するサービス]-[Modern UIアプリケーションを許可 (Windows 8のみ) ]

本設定は、初期設定として有効になっています。

あらかじめ定義したルールを使用する場合、および、学習モードでルールを作成する場合は、本設定を無効にしてご利用ください。

※ 新しいUI画面 :

Windows 8より追加された新しいユーザーインターフェース

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

□SSLプロトコルの検査が有効な場合に電子認証を用いたSSLサイトが表示できない現象について

本製品でSSLプロトコルの検査を有効にしている環境において電子認証を用いたSSLサイトが表示できない場合があります（既定ではSSLプロトコルの検査は無効に設定されています）。

本現象は、Windows Vista、および、Windows 7 環境で発生することを確認しています。

本現象が発生する場合は、SSLプロトコルの検査を無効（詳細設定画面-[Webとメール]-[プロトコルフィルタリング]-[SSL]-[SSLプロトコルを検査しない]）にするか、または、以下の手順にて、該当の電子証明書を除外してください。

1. 本製品の詳細設定にて、[Webとメール]-[プロトコルフィルタリング]-[SSL]で[アクセスしていないサイトについて確認する(除外を設定できません)]を選択し、[OK]ボタンをクリック
2. 該当のWebサイトにアクセス
3. [暗号化されたSSL通信 信頼できる証明書]ダイアログが表示されたら、[証明書]欄が該当のドメイン（団体）であることを確認し、[除外対象]ボタンをクリック（複数回表示される場合もあります）
4. 該当のWebサイトが表示されることを確認
5. 手順1の設定で[SSLプロトコルを常に検査する]を選択し、[OK]ボタンをクリック

□自己防衛機能が有効の場合、設定の変更ができない現象について

一部の64bit OSの環境にて、本製品の[自己防衛機能]が有効な場合に、本製品の設定変更が保存されない場合があります。

現象が発生する場合は、本製品を一度、アンインストールし、再度インストールしてください。また、現象が解消されない場合は、[自己防衛機能]（詳細設定画面-[コンピュータ]-[HIPS]-[自己防衛を有効にする]）を無効にしてください。

□ネットワーク共有上からプログラム等を直接実行することができない場合の対処について

サーバー側とクライアント側の両方に、本製品などのウイルス対策ソフトウェアが導入されている場合に、共有された実行ファイルを利用する際、サーバー側とクライアント側の両方の保護機能によって重複監視されるため、ファイルを実行できない場合があります。

本現象が発生する場合は、クライアント側にインストールされた本製品のリアルタイムファイルシステム保護設定で、ネットワークドライブの検査（[検査するメディア]-[ネットワークドライブ]）を無効にしてください。

## □外付けハードディスクを接続するとフリーズする現象について

一部のWindows XP環境で、外付けハードディスクやUSBデバイス等を接続した際に、コンピュータがフリーズする場合があります。  
本現象が発生する場合は、OS起動前に接続して利用してください。

### ■製品情報

本製品に関する情報は、以下のURLから参照することができます。

ESET製品ページ：

<http://canon-its.jp/product/eset/private/ems/index.html>

ESET製品 Q&Aページ：

<http://canon-its.jp/supp/eset/>